

水田の農道(耕作道路)整備を問う！

農地・水・環境保全協議会や 土地改良区等で実施



中倉 毅 議員

町内の水田でも耕作放棄地が増加しているが、誘発要因は何か。

耕作条件が悪い

町長

要因は、少子高齢化で労働力が不足し、田畑の維持が困難となってきたことや、日当たり・水利の問題があり、生産性が低いため営農を継続することが困難になってきたこと等、また、車での進入路が無く機械での作業が困難な農地である事や、米の価格の低迷

により経営が成り立たないこと等が上げられる。



新しく作った耕作道路 (椀岡集落下)

農道整備をどう思うか

中倉(毅) 議員

現在、下永吉地区では、耕作道路のない農家が話し合い、拠出金を出して農道を作っている。今後、借手もいなくなることも予想されるが、どう捉えているか。

農道整備は必要

町長

耕作道路の整備は大型機械の搬入や収穫物の運搬で不可欠である。耕作農家も苦慮されていることも十分認識している。

ほ場整備を推進するのか

中倉(毅) 議員

水田のほ場整備は農村振興総合整備事業や経営体育成基盤整備事業等で実施すると、農家負担は5%で出来る。10アール当たり、事業費二百万円、農家負担十万円、十年償還で年一万五千円程度となる。メリットは、農道がタテヨコ通る。用排水路、三反歩区画で大型機械が使える。測量、登記が事業内で出来る等、耕作条件が良くなると思うがどうか。

ほ場整備事業が最適

町長

水田のほ場整備はこれまで推進してきたが全体の30%に過ぎない。さらに推進したい。

農道整備を町単独で出来ないか

中倉(毅) 議員

永吉地区の水田は大部分が半湿田であり、

ほ場整備が出来ない所もある。これらの地域での農道整備を町単独の事業で出来ないか。

農道は土地改良区や水利組合で実施

町長

新規に農道を作る場合の機械の借上料、賃金等は地元の土地改良区や水利組合で対応してほしい。

経費はどうなるのか

中倉(毅) 議員

耕作道路を新規に作った後の碎石、生コン、賃金等の経費はどうなるのか。

碎石、生コン等は農地・水・環境保全協議会で負担

耕地課長

町も農地・水・環境保全協議会に25%予算化しているので、ここに対応して欲しい。

横瀬の新田地区はどうなるのか

中倉(毅) 議員

横瀬地区の農地・水・環境保全協議会の対象地区になっていない新田地区はどうなるのか。

対象外の地区は支給

耕地課長

新規に農道を作った後の碎石、生コン等は町により支給する。



耕作放棄地